

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信(第1号)

発行日: 2004年5月11日

(作成者)事務局: 伊原

まつど市民活動サポートセンター運営委員会委嘱状交付式及び第1回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時: 平成16年4月21日(水) 16:00から18:00

場所: 松戸市役所 新館5階 市民サロン

出席者: (委員) 金子・楠本・半田・三沢・岩橋・川瀬・星野(準備会委員) 伊藤・小山・高橋・藤沢(コーディネーター) 縣・中村(市) 川井市長・中島市民環境本部長・岩崎市民担当部長・仲田地域振興課長(事務局) 岩崎・伊原

傍聴者: なし

会議の流れ

16:00~16:30 委嘱状交付及び市長との懇談

16:30~18:00 運営委員会開催

議事進行: 事務局(岩崎)及び岩橋

議事記録: 事務局(伊原)

議題1: 運営準備会から運営委員会への引継ぎ

議題2: 運営委員会役員の選出

議題3: 会議の公開性と情報公開

議題4: 今後の進め方

議題5: 確認事項

議題6: 委員の連絡方法

確認されたこと

- 正式な正副委員長は次回の議題とし次回まで暫定的に岩橋委員を会長とする
- 定例会の会議は原則公開し、資料等も行政資料センター及びサポートセンターで原則閲覧できるようにする。(HPでも可能な範囲で公開)
- 部会等の資料等はサポートセンターで原則閲覧できるようにする
- 定例会は偶数月の第1火曜日 18:30から20:30、サポートセンターで開催
- 委員会には事務局・コーディネーターも出席(発言は議長の求めに応じて)
- 次回定例会の議題の選定・集約(定例会の1週間前)と議事進行、議事録(運営委員会通信を1週間以内に全員に確認)の作成は2人ずつの輪番制(順番は川瀬・半田・岩橋・星野・金子・三沢・楠本) 今回はサンプルを事務局で作成
- 民営化特別部会は全員参加
- 専門部会の内(仮称)情報化部会は川瀬委員中心に動き始める

議事の概要

議題1: 引継ぎ

1) 自己紹介

2) サポートセンターの特徴と目指すもの

- 特徴としてはオープンするまでのプロセスとして公募市民による松戸市パートナーシップ検討委員会による検討成果を行政が受け止めオープンしたこと
- 目指すものは同委員会の最終提言にある市民活動を活発にするための5つの機能(結ぶ・伝える・学ぶ・広げる・創る)と2006年4月からの民営化(準備会委員の想い)
- 市民活動を活性化し市民自治の実現を実践する場・結果よりもプロセス重視
- 運営委員会主催のイベントは提案+実施主体であるべき(質疑)

➢ それらの発想が形となっている場合は? 見本市(冊子になったデータが成果)

➢ 提言書はシミュレーションでありハンドリングするのは運営委員会

➢ サポートセンターのPR(HP等)や情報整理(データベース化)が急務(サポートセンター・生涯学習情報P・テント小屋・ゆうまつど・支所等)

➢ コーディネーターやパートナーズ応援団との連携も重要

➢ 現サポートセンター自体がパートナーシップのモデル事業(他の公共施設の拠点であるべき)

議題2: 役員選出

➢ 岩橋・川瀬両委員は準備会からのスライドで委員になったので公募委員4人にやってもらうべきでは?

➢ 今までのいきさつからも行政委員(星野)を除く6人の中から選ぶべきでは?

議題3: 会議の公開

➢ 松戸市では原則公開。開催のお知らせ・開催結果・資料等も原則閲覧可能にする。場所は行政資料センター(サポートセンターやHPは?)

議題4: 今後の進め方

1) 定例会日時・場所について 委員同士で調整

2) 運営委員会の出席者 委員・事務局・コーディネーター?

3) 議事進行 検討委員会の経過から輪番制で進行・議事録づくりをしたら? 議事記録(板書)は発言できなくなるので事務局でできないか? 議事録は資料のように運営委員会通信としては?

4) 委員の役割分担 部会の設置 民営化特別部会は全員参加? 研修・視察が必要 専門部会は5つの機能の中の得意分野を分担? 急務である(仮称)情報化部会はスタート?(川瀬委員中心) 目標はHP作成(IT関連のNPOと連携するため4/28の見本市ふりかえりの会にて接触? ポータルサイトとして作って見たら? 検討委員会HP作成した委員や運営委員会委員に応募した方なども声かけしてみても? 部会はその都度緊急に開催するため開催のお知らせは物理的に無理? 結果はできるだけ情報公開を努力すべき? サポートセンターの

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第1号）

発行日：2004年5月11日

（作成者）事務局：伊原

確認されたこと

- サポートセンターの実情を把握するため参加できる範囲でサポーターとして参加する
- 5月に我孫子・浦安・習志野（秋津）に数名ずつで視察。先方との調整後に事務局と各委員で日程調整
- 5月13日（木）18：30～20：30 サポートセンターにて第1回民営化特別部会として指定管理者制度学習会を開催
- 委員同士の情報交換や事務局と各委員との連絡はEメールにて行う（メーリングリストは当分の間作らない）
- 委員報償は自宅から委員会（部会・視察含む）開催場所までの公共交通機関利用の実費分を毎月月末で締めて翌月に口座に振込む

次回に先送りした議題

- 正副委員長の選出

議事の概要

実情を委員として把握するためサポーターとして月数回程度参加しては？委員会主催で利用者ミーティングを開催しては？

議題5：確認事項

- 1) 視察について 候補地として我孫子・浦安・習志野のセンターを挙げる。受け入れ先との調整を事務局が行う。その他各委員から視察先の提案は即時行う。
- 2) 研修について 民営化の勉強として指定管理者制度の学習会を企画しては？パートナーズ応援団などにも参加を呼びかけてみては？委員同士で日程調整

議題6：委員の連絡方法

全委員がメールアドレスを持っているのなら連絡はメールにて行っては？メーリングリストを作っては？当面はメーリングリストは作らない方がいいのでは？（事務局より）

1. 配布資料の説明
2. 報償費の算出方法と支払い方法について

連絡事項

- 4月28日（水）18：30 から 20：30 見本市のふりかえりの会（支障のない委員は出席願います）
- 5月13日（木）18：30～20：30 サポートセンターにて第1回民営化特別部会を開催。内容は「指定管理者制度学習会」講師：岩橋・星野（全委員が対象です）
- 次回の定例会は6月1日（火）18：30 から 20：30 サポートセンターにて川瀬委員と半田委員の進行にて行います
各委員からの議案提出期限は両委員からの指示に従ってください
- サポートセンターのサポーターとして参加できる委員はコーディネーターまでお電話ください

パートナーズ応援団から

- パートナーズ応援団「ナツメの会」パートナーシップ連続学習会《第2回》
テーマ：パートナーシップ条例ってな～に？
-市民参加や協働を推進する条例の意義と課題-
日時：5月29日（土）15：00 から 17：00
場所：サポートセンター大会議室
講師：東京理科大学教授 渡辺俊一氏
参加費：1,000円
定員：150名
委員としての参加ではありません。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信(第2号)

発行日: 2004年6月23日

(作成者) 半田勝利

まつど市民活動サポートセンター運営委員会(第2回)

日時: 平成16年6月2日(火) 18:30から21:00

場所: まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者: (委員) 金子・楠本・半田・三沢・岩橋・川瀬・星野(コーディネーター) 藤沢・小山(事務局) 岩崎・伊原

傍聴者: なし

会議の流れ

議事進行: 川瀬

議事記録: 半田

議題1: 確認と報告事項

議題2: 正副会長の互選

議題3: 今後の取組について

議題4: 今後の予定について

確認されたこと

- 運営委員会の会長は岩橋委員、副会長は金子委員に決定。
- 運営委員会の会長は民営化特別部会の会長も兼務する。
- 6/15までに各部会は、部会長、各部会の方針について決定する。
- 7/6(火)18:30より臨時運営委員会(第3回)を開催する。
- NPO実務相談・年金相談は実施する。
- レッツ体験は企画部会で検討を。
- ふれあい広場は企画部会で検討を。
- 部会メンバーの募集要項は企画部会で検討。
- 見本市は交流部会で検討を。
- 利用者ミーティング開催は交流部会で検討を。
- 広報誌(ニュースレター、パンフレット)の発行は交流部会で検討を。
- 部会の開催、議事録は必ず、運営委員全員に連絡する。
- 委員会の連絡手段としてメールの他に電話も活用する。(電話番号簿を事務局で作成)
- 運営委員会にはサポートセンターの利用統計を提出する。

議事の概要

議題1: 確認と報告

1) 下記議事録について確認

第1回運営委員会議事録

運営委員会学習会議事録

第1回情報部会議事録

2) 視察報告;金子委員作成の『松戸市近郊サポートセンター視察・調査レポート』をまとめとする。

【秋津コミュニティ】

- 生涯学習の指定地区として、その活動拠点となったことが発端。
- 教育委員会との関係が特別で、松戸市ではこの点をどうできるのか?

【浦安市市民活動センター】

- 基金マッチング方式での市民活動団体への補助金制度、明海大学との協定など、松戸市での対応は? 松戸市では、パートナーシップ条例の制定 市民活動推進条例という流れの中で。
- 基金マッチング方式では、年1回、プレゼン 審査 決定 活動実績報告によって、市民活動団体の質向上にもつながる。

【我孫子市市民活動サポートセンター】

- 市民活動支援としては最も進んでおり、受け入れも丁寧・組織的。
- 市民、社協、市が一体となってセンター運営。広報レポートの定期発行・ホームページの充実など。
- 4部会の独自活動が主体で先行、その後でできたのが運営委員会。
- 公設共同型の運営であり、平成17年に新センターが建設されるため、今後の公設民営化の方向に対して運営形態を模索中。

3) 事務局報告

【レッツ体験】

- ・中・高・専門学校・大学生を対象
- ・事前調査 オリエンテーション、活動紹介 活動現場 振り返り
- ・7/11(日)、オリエンテーション
木下 勇千葉大助教授の講演、市民活動(現在27団体)の活動紹介
マッチング
- ・8/28(土)、振り返りの会

【ふれあい広場】まちづくりに参加しませんか?

ひとにあったかい総合福祉会館を提案しよう!

- ・サポートセンターと共同で運営委員会に参加して企画から一緒に考えては?
総合福祉会館内との連携
市民フォーラムの継続
まちづくりへの市民参画のプロセスづくり
- ・企画内容は今後検討を要す

【NPO・市民活動見本市】実行委員会;7/20(火)または7/27(火)15:00~17:00

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信(第2号)

発行日: 2004年6月23日

(作成者) 半田勝利

連絡事項

- 7月6日(火) 18:30から20:30
臨時運営委員会(第3回)をサポートセンターで開催

パートナーズ応援団から

- 6月23日(水) 18:00から20:00
タウンミーティング「車座で語ろうパートナーシップ条例」
(参加費) 無料
- パートナーシップ連続学習会
(第3回)
6月26日(土) 15:00から17:00
「考えてみよう 条例づくりと市民参加のプロセス」ロールプレイを活用した市民参加の手法とは
(講師) 木下勇・千葉大学園芸学部助教授
(第4回)
7月16日(金) 18:00から20:00
総合計画への市民参加を考える
(講師) 森良・E COM代表
(第5回)
7月24日(土) 15:00から17:00
詳細未定
場所はいずれもサポートセンターで開催
参加費はいずれも1,000円

議事の概要

【NPO・市民活動団体を支援していくための企画プログラム】

NPO 実務(人事・労務)相談 年金相談

- ・サポートセンターとして、企画するかどうか?

賛否を議決し、サポートセンター事業としての実施を決定。

(賛成4人・反対3人)

- 運営委員としての参加の仕方は?

議題2: 正副会長の互選

- 1) 会長の役割 会務の代表、会議の招集、議事録の確認
運営委員会活動の総括(年1回)
民営化特別部会の部会長、対外的対応
- 2) 正副会長の決定 各委員が会長に選任したい委員名を1名、副会長に選任したい委員名を1名記入し投票した。(全7票)

【投票結果】

(会長) 岩橋4票、金子2票、楠本1票

(副会長) 金子2票、楠本2票、岩橋1票、川瀬1票

会長は岩橋委員に決定

副会長は金子・楠本両委員が2票で同数だが全体票数で金子委員に決定

議題3: 今後の取組

- 1) 専門部会の設置: 4部会の設置を決定
 - 民営化特別部会: 民営化のプロセスデザインを検討
部会長 岩橋 メンバーは、運営委員全員参加
 - 情報部会: ホームページの作成
担当委員; 川瀬、金子
 - 企画部会: サポートセンター運営事業の企画立案と調整、各種企画調整機能、ふれあい広場、レッツ体験
担当委員; 星野、岩橋、半田
 - 交流部会: 交流促進、広報誌(ニュースレター、パンフレット)の発行、見本市、利用者ミーティング
担当委員; 楠本、金子、三沢
- 部会メンバーの募集要項は企画部会で検討。
 - ・センターサポート募集
 - ・運営委員会への応募者
 - ・シニア講座の参加者
 - ・はじめてのNPO 講座の参加者など
- 各部会は議事録を作成し、活動内容を運営委員全員に報告・通知。
- コーディネーターも各部会に1名の担当が参加。
- 2) 臨時運営委員会の開催
 - 委員会、各部会などの臨時会議は2週間前までに開催の通知を行なう。
- 運営委員会の会議は公開しなければならないが、各部会の会議については公開の必要はない。(議事録は全て公開の対象)

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

平成16年度まつど市民活動サポートセンター運営委員会7月臨時会

発行日：2004年7月14日

(作成者) 星野宏昭

平成16年度まつど市民活動サポートセンター運営委員会7月臨時会

日時：平成16年7月6日(火) 18:00から20:30

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：(委員) 金子・楠本・半田・三沢・岩橋・川瀬・星野(コーディネーター) 藤沢(事務局) 岩崎・伊原

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：岩橋

議事記録：星野

議題1：確認と報告事項

議題2：各部会からの検討課題及び提案討議

議題3：今後の予定、その他

確認された事項

- ・開催時間の変更は、遅くとも7日前までに行う。
- ・部会のやり取りをメールで行う場合は、基本的には部会員のみで行う。ただし、部会議事メモの確定版は、全員に送信する。その他の事案については、送信者の判断でカーボンコピーとする。
- ・メールの件名の頭には、【運営委員会】【民営化特別部会】【企画部会】【交流部会】【情報部会】【事務局】【コーディネーター】の何れかをつけること。
- ・通信・議事メモの初稿に対する意見、提案等がある委員は、初稿受信後3日以内を目途に、送信し、作成者は初稿送信後7日以内に確定版を送信する。

次回の議題

議題：公用の取り扱いについて

議題：運営委員として団体等と打ち合わせ、交渉等できる範囲について確認

議事の概要

議題1：確認と報告

1) 第2回運営委員会議事録について確認

2) 報告事項

1) ふれあい広場

- ・ふれあい広場運営委員会への参加ではなく、社会福祉協議会と直接協議の場に対応して行く。
- ・企画部会が協議会との調整協議をし、その後交流部会に移行していく。
- ・原則として企画事業については、企画部会で初期調整を行い、その後各部会へ移行していく。
- ・これを機に、サポートセンターの課題として、社会福祉協議会との連携を考え、協議していく。

議題2：各部会からの検討課題及び提案討議

1) 情報部会

(ホームページの作成について)

- IT系団体交流会からHP作成のアドバイスと概算見積をいただいた
 - 将来的には50ページ+データベース機能を目指す、現状の少ないデータや予算流用可能額を勘案して今年度は20ページ以内+データベース機能なし(予算10万円以内)に押え、9月頃の仮オープンを目指し手続きに入る
 - ページ概要はセンターの紹介、団体紹介、イベント(センター・団体)紹介
 - 利用者にパスワードを付与してネット上から登録修正をできるようにしては？
- 数百万円の単位のコストがかかるため考えていない。また、各団体の初期登録の際はコーディネーターと顔の見える関係を構築することを最も重視したいので、基本的にセンターに来ていただいて入力していただく。(入力のサポートについてもIT系団体交流会やコーディネーターが対応しては?と考えている)
- 利用者交流会や見本市の打合せ等に来た際に入力サポートを実施してみてもは？

効果的な提案であり是非検討したい。

2) 交流部会

交流部会の役割は、サポートセンターのサービスの向上を実現していくことだが、この件は運営委員会や民営化部会のテーマと重複するので、次回民営化部会の宿題と合わせて継続討議していくことにしたい。

まず交流部会でやるべき事は、現場主義的な動きで現状の意見や問題点を吸い上げることからスタートする。

具体的にいうと

- ・利用者アンケートを確認して改善すべきところは、検討する。
- ・パンフレットの見直し
- ・利用団体の現状把握
- ・コーディネーターとの意見の場
- ・部員の補充をイベントの様子を見て考える

平成16年度まつど市民活動サポートセンター運営委員会7月臨時会

発行日：2004年7月14日

(作成者) 星野宏昭

連絡事項

- ・委員個人別スケジュール表を作成しますので、各委員が記入すること
- ・企画部会は、7月29日午後2時から開催予定
- ・交流部会は、7月22日午前10時から開催予定

議事の概要

- 見本市 実行委員会は7月27日 午後3時から5時まで
- 利用者ミーティング 次回の交流部会に案を出す。

3) 企画部会

ア 企画部会の役割は、

- ・サポートセンターの企画立案調整評価
- ・提案された企画の調整
- ・事務局との調整

イ 部会メンバーの募集は、交流部会等の様子を見て対応して行く。

ウ 後援規定と共催規定

後援と共催については、分けて規程等を考えていきたい。

後援は、イベント等の行事の趣旨に賛同し、開催を援助する意思を表示することなので、共催のように、共同主催者としての責任を負うようなものではない。

共催は、センターとの共同事業の一つとして考え、協力、共同、協賛を含め、新しい形のパートナーシップとして、取り扱い基準等を検討していきたい。

エ 研修参加

- ・7月7日 千葉県NPO活動提案募集事業第2次審査会
金子委員、楠本委員、星野室長、中村コーディネーター
- ・7月23日 船橋市民活動フォーラム 金子委員
- ・7月24日 川中大輔の「成功するイベント運営」
三沢委員、藤澤コーディネーター
- ・9月19日・20日 エコムファシリテーター養成研修
楠本委員、岩崎補佐

研修参加情報は、企画から早めに連絡を行う。

4) 民営化部会 民営化部会議事録のとおり

議題3：その他

ア 早期予約について

はつらつ健康大学公開講座 9月19日(日)午後1時から3時まで
審議の結果、早期予約を了承

イ 商工会議所等他団体との事業共同などを行う場合の運営委員の係わり方について

運営委員会は付属機関であり、事業にからむ交渉、協議等は、執行機関に属する事務であり、職員が行うこととなります。

ウ 運営委員会等の議事録等を発信するなどして、積極的な広報活動をする。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第3号）

発行日：2004年8月03日

（作成者）運営委員会岩橋秀高

第3回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成16年8月3日（水）18：30から20：30

場所：まつど市民活動サポートセンター第2会議室

出席者：（委員）金子・楠本・半田・三沢・岩橋・川瀬・星野（コーディネーター）藤沢（事務局）岩崎

傍聴者：2名

議事の概要

議題1：確認と報告事項

(1)本日の議事進行：進行星野委員、書記岩橋委員

(2)議事録確認：7月臨時運営委員会、第2回民営化特別部会、第4回及び5回、情報化部会、第2回交流部会、第2回企画部会

(3)報告事項：まつど市民活動サポートセンター利用状況

平成16年4月1日から同6月30日までの利用率は午前が22%、午後が20%、夜間は5%であり、低いが無料時と比較して低下した訳ではない。

(4)利用者アンケート：「2ヶ月先の予約が出来るように」という要望が多いが「1ヶ月前予約の仕組みは16年度中に変更出来ない」が「運用で対応する」旨星野室長より説明あり。

議題2：まつど市民活動サポートセンター利用の公用の取り扱いについて

現状について岩崎室長補佐より説明があった。星野室長より「例えば社協の場合は松戸市の使用ではないが担当課である高齢者福祉課から公用として申請が出ており、このような場合は公用となる」と説明があった。公用での利用状況は松戸市の使用に比し担当課申請による公用扱いが多い。

議題3：運営委員として団体等と打ち合わせ、交渉等できる範囲について：運営委員が他の団体例えば青年商工会議所の会員と例えばまつど市民活動サポートセンターとの協働事業等について打ち合わせする件について、星野室長の説明では運営委員に交渉権はないので事務局が同行することになる。理由は運営委員会は付属機関としての位置づけであり、市長の諮問に答申する機能しか持たない。交渉は執行機能であるので事務局が行う旨。

従って、運営委員が「選べる！見て・聞いて・NPO・市民活動見本市」の会議に出席した場合、それは個人としての出席になる。星野委員は市職員としての出席である。また、運営委員が「利用者懇談会」に出席する場合は、諮問に答申するための「調査」の一環としての活動となる。「利用者懇談会」出席者の募集は執行機関である行政がおこなう。交流部会としての活動の位置づけは？時間がなく議題3：については後日討議の必要がある。

議題4：今後の予定、その他

(1)まつど市民活動サポートセンター利用者会議の開催

趣旨：まつど市民活動サポートセンターの自主的な運営管理を目指し、運営委員会と利用者の団体との交流を図る。

目的：資料の「3)運営委員会の目的と機能の周知」は削除する。

開催日は2004年10月8日（金）18：00～20：00大会議室とする

公報まつど9月15日号で告知する。

(2)早期予約の件は2件とも承認された。

「不登校・ひきこもり者と企業とのネットワーク構築講演会」

「不登校・ひきこもり者の心の友達メンタルフレンド養成講座」

(3)サポーターの募集の件：現在「ボランティアとして運営に参加したい」という申し入れがある。受け入れ体制を整備した上でテストケースとして実施する。コーディネーターの業務を補完する業務に従事していただく。将来は公募も検討する。採否はボランティア室が行政内手続きに則り行う。

(4)コーディネーター採用の面接について：運営委員会が選考委員としてコーディネーターを推薦していた件について、「コーディネーターは事務の補助的立場であり、公の役割を担うにはふさわしくない」という理由で参加出来ない旨星野室長より解答があった。日常のコーディネーター業務からみて「事務の補助的立場」と言えるのか、現在はパートが店長を務める時代である。との意見もあり結局「コーディネーターは同席し意見を求められれば発言する」ことになった。

事務局1名、運営委員会から1名の委員を決定した。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第3号）

発行日：2004年8月03日

（作成者）運営委員会岩橋秀高

議事の概要

(5) 企画部会よりの提案と報告

専門部会委員の補充に関する取り扱い：「各専門部会で独自に採用し運営委員会に報告する」という内容の提案であったが、各部会がばらばらに採用するのではなく、各部会から時期、人員、役割等を指定して企画部会に出し、同部会でとりまとめ事務局が一斉に募集案内を行うことになった。

当面は8月30日までに各部会から提出し、それに基づき事務局が1週間を目途に募集を実施する。

報告事項：「まつど市民活動サポートセンターに企画提案の申請があった場合の取り扱いについて」

基本的に「後援」については申請主義とし、認可になれば「松戸市」の名称を冠するだけ。「協力、共催、協働」については協議を必要するので別途申請を要する」という2本建てとする。

企画部会では「協力、共催、協働」の定義について検討中。

(6) 情報部会提案：

大枠について情報部会に一任した。但し、予算は運用が利く範囲（15～20万円）とする。

ホームページのドメイン名は「matsudo-sc.com」と決定した。

9月仮オープンする。

以上

次回に先送りした議題

1. 議題1：確認と報告事項

「(3)報告事項：まつど市民活動サポートセンター利用状況」について低調である点について議論が必要。

2. 議題2：「まつど市民活動サポートセンター利用の公用の取り扱いについて」報告に留まった。内容等更に議論が必要。

3. 議題3：に関連して「運営委員会の役割と機能」については十分な議論ができなかったので再度議論することとする。

4. 議題4：今後の予定、その他の部分

「(1)まつど市民活動サポートセンター利用者会議の開催」会議の目的を再度議論する。

「(5)企画部会よりの提案と報告」企画部会より「後援規定案」を次回は提出していただくこと。

確認されたこと

確認事項は「議事の概要」参照

連絡事項

1. 次回運営委員会は10月5日（火）18：30から20：30であることを確認した。

2. 10月の議事進行は金子委員と三沢委員が行うことを確認した。

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会

会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第4号）

発行日：2004年10月5日

（作成者）運営委員 三沢和弘

第4回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成16年10月5日（水）18：30から21：00

場所：まつど市民活動サポートセンター第2会議室

出席者：（委員）金子・楠本・三沢・岩橋・星野 （コーディネーター）藤沢 （事務局）岩崎・伊原

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：（運営委員）金子

議事記録：（運営委員）三沢

議題1：確認と報告事項

議題2：運営委員会の役割と機能

議題3：サポートセンター利用者会議

議題4：公用の取扱い

議題5：早期予約の取扱い

議題6：各部会からの提案事項

議題7：その他

配布資料

第3回運営委員会議事録、サポートセンター利用状況、青年会議所事業計画報告書（案）後援規定（案）HPリニューアル作業報告、市民活動見本市参加資料、シニア講座資料、雑居祭り資料

確認されたこと

- 運営委員会の議題については、岩橋会長、金子副会長と事務局が協議し、全委員に事前確認の上決定する。
- 配布資料の指示は前日までに当月の担当委員がコーディネータに行く。
- サポートセンターの利用促進についての対策を今後の課題として引き続き協議する。
- 運営委員会の役割と機能についての文言について、次回運営委員全員の確認をとる。
- 専門部会の活動のあり方について、具体論として協議する。
- 今後は、公用使用の申請も早期予約制度と同様のプロセスを経ることにする。
- 多目的ホールは直接市が使用する公用以外は早期予約させない。
- 早期予約について公用を含めて、運営委員会と民営化部会において議題として取り上げ審議する。

議事の概要

議題1：確認と報告事項

1) 本日の議事進行：進行金子委員 書記三沢委員

2) 議事録確認：第3回運営委員会

3) サポートセンター利用状況（平成4月～8月末）の問題提起

*利用率は昨年（無料時）から有料になっても変わらない。

*利用施設が分散し、サポートセンターではなく便利な場所を選んでしまう。

*ただスペース貸しではなくプロモーション活動が必要。サポートセンターの機能が利用率と関係していく。

*健康増進センターの時は、ヨガ、エアロビなど集団指導や農協との連携などにより利用率促進を図った。こうしたネットワークが必要

*民営化に向けてサポートセンターを核として、市内支所センターと連携を考慮していきたい。

議題2：運営委員会の役割と機能について

*運営委員は公職として同委員会に参加している。

*役割と機能について具体的な言葉にする。以下、今回まとめた文言について欠席委員の意見を聞き次回確認する。

『運営委員会は、サポートセンターの運営に当たり、市民の声を反映させて、パートナーシップを実現するための必要な活動をする、働く委員会である。』（修正：三沢）

*これから運営委員が実務的な作業をしなければならないことが多くなってくる。専門部会がどこまでやるか、できるかなどの活動のあり方について次回の運営委員会の議題とする。

*9月9日開催のフリーディスカッションは議事録として残さない。

議題3：サポートセンター利用者会議

*日時：10月8日18：00～20：00

*内容：センター及び運営委員の目的と機能 センターの利用状況
センターからのお知らせ 意見交換

*進行は金子（交流部会）、挨拶は星野室長（事務局）と岩橋会長（運営委員会）で了承

議題4：公用の取り扱いについて

*公用については、市が直接使用するケースと市が間接的（直接にはNPOが使用）に係わって使用する場合がある。しかし、間接的な公用の場合、利用率の高い多目的ホールでは、一般の予約開始日以降に受け付けている。

*一般予約開始日以降に公用を予約する場合は問題ない。

*今後、公用の優先順位、使用料などについては全庁の関係部門で話し合わなければならない事項である。

*施設の使用について、センターの方向性を示さなければいけない。

*来年度は、全て公用使用の申請を提出してもらい、運営委員会で早期予約扱いとして現状の把握をする。

*後援、共催、協働などの規定のなかで公用扱いも議論していく必要がある。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第4号）

発行日：2004年10月5日

（作成者）運営委員 三沢和弘

次回に先送りした議題

- センター利用促進についての協議
- 運営委員会の役割と機能についての文言の確認
- 専門部会の活動のありかたについて
- 後援、協賛、協働規程の継続審議

議事の概要

議題5：早期予約の取扱い

- * 早期予約について公用を含めて、民営化部会においても議題として取り上げ審議する。運営委員会と民営化部会の両方で審議することで利用者のサービス拡充につながる。

議題6：各部会からの提案及び報告事項

1) 情報部会

- * ホームページのリニューアル。公開は11月1日。公開告知は広報まつど11月15日号を予定。

2) 企画部会

- * 後援規定案の説明。現状では市のフィルターが必要

- * 協賛、協働については運営委員会の取扱いでよい。

- * サポートセンター独自の規定とするため次回継続審議とする。

3) 交流部会

- * 第2回NPO見本市に運営委員会として参加することを承認

議題7：その他、配布資料説明

- * ふれあい広場の参加10月24日（企画部会）

- * 青年会議所10月例会の講演（10月20日）

- * 世田谷雑居まつり10月10日見学

- * シニア講座開催 10月25日～11月5日（申込み期間）

連絡事項

- 11月臨時運営委員会 平成16年 11月9日 18:30～20:30
- 第5回運営委員会 平成16年 12月7日 18:30～20:30

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第5号）

発行日：2004年11月12日

（作成者）金子雄二（運営委員）

まつど市民活動サポートセンター臨時運営委員会

日時：平成16年11月9日（火）18:30から21:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：（運営委員）岩橋・星野・半田・川瀬・楠本・三沢・金子（コーディネーター）藤沢・小山（事務局）岩崎・伊原

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：三沢

議事記録：金子

議題1：11月16日の「意見交換会」での報告について

議題2：運営委員会の機能と役割の確認

議題3：来年度の予約開始日について

議題4：早期予約について

議題5：サポートセンター主催の行事について

議題6：サポートセンター利用促進について

議題7：専門部会のあり方について

議題8：専門部会関係

：運営委員会機関紙発行に関する編集委員会の設置及び編集委員の募集について

：サポートセンターのシンボルキャラクター（名称とデザイン）の募集について

：後援・協力・共済について

：ホームページの関連リンクの取扱いに関する選定基準について

議題9：その他

：コーディネーターの人事について

：来年度のボランティア担当室の予算について

議事の概要

議題1：11月16日松戸市パートナーシップ検討委員会提言後のモニタリングを兼ねた「意見交換会」での報告について（岩橋委員）

1）岩橋委員作成の説明資料を基に説明・討議

提言後の流れ

運営委員会の機能と役割の実践

運営委員会の議題

2）意見交換会参加団体は、元検討委員会、実行委員会、応援団と現運営委員会の4団体と事務局（36名）運営委員は6名参加予定。意見交換会後懇親会の予定

3）全体の時間配分は、運営委員会：30分、応援団：20分、討議：40分とする

4）運営委員会の活動発表は、岩橋会長が担当（10分）各専門部会の発表は部単位で実施（各部5分）とし、説明資料はA4一枚に項目を纏め15日迄に事務局へ提出する

議題2：運営委員会の機能と役割の確認

➢ 前回開催（10月5日）の運営委員会で確認の具体的な文言は以下の通りで確認

➢ 「運営委員会は、サポートセンターの運営に当たり、市民の声を反映させて、パートナーシップを実現するために必要な活動をする主体性のある委員会である」

議題3：来年度の予約開始日について（星野委員）

➢ 2ヶ月前からの施設予約についての資料を基に討議

➢ 現行1ヶ月前予約を2ヶ月前予約とする。実施は来年2月（4月予約分）からとし、来年1月広報に掲載する。

議題4：早期予約について（事務局）

➢ 矢切老人会：矢切老人福祉センター（歌い方教室）、ふれあい会会食：（健康福祉本部企画管理室（矢切地区社協のふれあい会食）の公用申請に対しては、優先予約される。しかし他に優先すべきNPO活動等があり、取り扱いに問題がある。公用の取扱いは中味も含めて検討すべきである。

➢ 公用の中には、実態が公用であるか判断できないものがある。

➢ 公用の中味を確認して、条件付きで許可することも考慮する必要がある。

➢ 当面、早期予約の条件（ルール作り）が必要である。公用についても早期予約のルール化の中で検討していく。

➢ このルール化の検討は、企画部が担当する。

議題5：サポートセンター主催の行事について（事務局）

➢ 平成16年度内閣府委託調査「市民活動モデル調査」実施計画書の資料を基に、説明・討議。

➢ ワーキングチーム等が50団体以上の調査を行い、市民活動の手引書やマニュアルを作成して、パートナーシップ条例策定委員会に提案していく。

➢ こうしたサポートセンター主催の行事については、今後検討段階から事前に運営委員会（窓口：企画部）に報告する。

確認されたこと

議題1：11月16日の「意見交換会」での報告について

➢ 運営委員会の活動発表は、岩橋会長が担当、各専門部会の発表は部単位で実施

➢ 説明資料はA4一枚に項目を纏め15日迄に作成・提出する。

議題2：運営委員会の機能と役割の確認
具体的文言は、議事の概要の通り

議題3：来年度の予約開始日について

➢ 現行1ヶ月前予約を2ヶ月前予約とする

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第5号）

発行日：2004年11月12日

（作成者）金子雄二（運営委員）

確認されたこと

議題4：早期予約について

- 当面、早期予約の条件（ルール）作りが必要。このルール化の検討は、企画部で検討する。

議題5：サポートセンター主催の行事について

- 今後、サポートセンター主催の行事については、検討段階から事前に運営委員会（窓口：企画部）に報告する。

議題6：サポートセンター利用促進について

- 他議題を優先討議するので、継続審議。

議題7：専門部会のあり方について

- プロジェクト毎の対処も検討していく

議題8：専門部会関係

：運営委員会機関紙発行に関する編集委員会の設置及び編集委員の募集について

- 継続審議とする。

：サポートセンターのシンボルキャラクター（名称とデザイン）の募集について

- サポートセンターに相応しい、シンボルキャラクターを募集する。

：後援・協力・共済について

- 継続審議とする。

：ホームページの関連リンクの取扱いに関する選定基準について

- 了承された。

議題9：その他

：コーディネーターの人事について報告

：来年度のボランティア担当室の予算について

- 来年度予算の概要を報告してもらう。

議事の概要

議題6：サポートセンター利用促進について

- 時間の関係で他議題を優先討議するので、継続審議とする。

議題7：専門部会のあり方について

- 運営委員会は全体活動を見る立場で、プロジェクト毎の対処も検討していく

議題8：専門部会関係

：運営委員会機関紙発行に関する編集委員会の設置及び編集委員の募集について（交流部会）

- 交流部会作成資料を基に討議。機関紙を発行するなら予算を取って発行すべきで、現行ニュースレター程度でいいのではないか

- 情報発信は必要であるが、議事録とニュースレターをどう使い分けるかの論議をする必要がある。発行するなら、予算も含めて検討すべきである。継続審議とする。

：サポートセンターのシンボルキャラクター（名称とデザイン）の募集について（交流部会）

- 交流部会作成資料を基に討議。まつど市民活動サポートセンターに相応しい、シンボルキャラクターを募集する。

- 2月開催のNPO見本市等で応募作品を投票で決定する。

：後援・協力・共済について（企画部）

- 企画部作成資料を基に説明。時間の関係で、継続審議とする。

：ホームページの関連リンクの取扱い（情報部会）

- 情報部会作成資料を基に報告し、了承された。

議題9：その他

：コーディネーターの人事について（事務局）

- 9月に縣さんが退職、井口さんを採用。11月に山崎さんが採用された

：来年度のボランティア担当室の予算について

- 来年度予算案の現状について、事務局から概要を報告してもらう。

（以上）

連絡事項

次回の運営委員会は12月7日（火）18:30から開催する。

議事進行等の担当は、楠本、川瀬委員。

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第6号）

発行日：2004年12月8日

（作成者）川瀬裕思（運営委員）

愛5回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成16年12月7日（火）18：30から21：00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：（運営委員）岩橋・金子・星野・半田・楠本・三沢・川瀬（コーディネーター）藤沢・小山（事務局）岩崎・伊原

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：楠本委員

議事記録：川瀬委員

議題1：確認と報告事項

11月度臨時運営委員会議事録の確認

NPO見本市実行委員会報告

「年金相談・NPO相談」の実施報告

議題2：来年度予算概要報告

議題3：早期予約について

議題4：「年金相談・NPO相談」の今後について

議題5：専門部会関連について

後援・協力・共催について（企画部会）

運営委員会機関紙発行に関する再検討

討案について（交流部会）

シンボルマスコットの公募と名称について（交流部会）

について（交流部会）

NPO見本市準備内容と運営委員会としての

出店について（交流部会）

センターホームページの運営について

（情報部会）

議題6：その他

市民活動モデル調査（内閣府委託調査）について

第1回パートナーシップ条例策定委員会について

利用者アンケートについて

確認されたこと

議題1：NPO見本市について

➢ NPO見本市の参加団体募集は終了、最終エントリーは51団体

議題2：サポートセンター予算概要について

➢ 次回運営委員会までに、今年度における事業毎の予算実績を検証する。

➢ 事業計画案を立案する。担当は企画部会とする

議事の概要

議題1：確認と報告

11月度臨時運営委員会議事録の確認（楠本委員）

NPO見本市実行委員会報告（三沢委員）

➢ 51団体の参加申込を受け付けた。

➢ 多目的ホールで予定している 団体交流の場 では「環境」「福祉」「まちづくり」「人権・平和」の4つのテーマで27団体の参加が決定した。

➢ 12月中にポスター等を作製し、1月より広報活動を開始する

「年金相談・NPO相談」の実施報告（小山コーディネーター）

➢ 年金相談；全10回の開催で相談件数7件（7名）

➢ NPO相談；全2回の開催で相談件数2件（3名）

議題2：サポートセンター来年度予算概要報告（事務局）

➢ 平成16年度予算額は7,591千円

運営委員会旅費報償376千円（運営委員の実費交通費等）

コーディネーター養成115千円（研修費等）

企画費311千円（主催事業費等）

サポートセンター用6,789千円（施設管理公社からの人材派遣4,381千円・OA機器460千円・修繕費500千円・備品消耗品500千円など）

コーディネーター人件費は人事課の予算

水道光熱費・電話代・清掃・夜間警備・消防設備などの保守・空調ボイラー

運転・共用部分の修繕保守は総合福祉会館の予算

➢ 事業毎の実績の検証が必要

➢ 平成17～19年度計画額は各年度とも7,618千円

➢ 平成16年度の実績を元に具体的な事業計画案を作成する

議題3：公用・早期予約について（事務局）

➢ 公用申請3件〔社会福祉協議会・胃がん検診・矢切小学校家庭教育学級〕を承認

➢ 前回申請の〔歌い方教室・ふれあい会会食〕の開催日時等の再検討依頼は折衝中（事務局）

➢ 早期予約申請2件〔セミナー：指定管理者制度を考える・つながりあそびうた研究所サマーカレッジ〕を承認

➢ 早期予約済みの日時・施設に公用申請が重なった場合の対応 先に受けた予約を優先することで確認された。

➢ このルール化の検討は、企画部が担当する。

議題4：「年金相談・NPO相談」の今後について（小山コーディネーター）

➢ 広報活動に注力したが相談件数は伸びなかった。

➢ 利用実績が芳しくない為、現状の方法では継続実施はしない。

➢ 無料相談ではなく、ニーズ・目的を明確にした「講座形式」など、開催方法を見直しての実施を検討する。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第6号）

発行日：2004年12月8日

（作成者）川瀬裕思（運営委員）

確認されたこと

議題3：公用・早期予約について

- 前回からの継続審議として早期予約の条件（ルール）作りが必要。

議題4：「年金相談・NPO相談」の今後について

- 無料相談ではなく、ニーズ・目的を明確にした「講座形式」など、開催方法を見直しての実施を検討する。

議題5：専門部会関連について

後援・協力・共催について

- 協働事業の公募を実施する。時期については、継続審議とする。

運営委員会機関紙発行について

- 編集委員の位置付けを明確にする上で、交流部会と情報部会で継続審議とする。

シンボルマスコットの公募と名前について

- 1月の広報にて、作品募集を掲載する。
- 最終決定は3月を予定とする。

NPO見本市準備内容と運営委員会の出展について

- 運営委員会は、まちづくりのコーナーに出展する。

センターホームページの運営について

- コーディネーターとの合同会議を開催する。

議題6：その他

市民活動モデル調査について

- 1月に指定管理者制度をテーマにワークショップを実施する。

パートナーシップ条例策定委員会について

- 運営委員会から委員1名が第1部会の部会員として参加することを提案する。

議事の概要

議題5：専門部会関連について

後援・協力・共催について（企画部会：半田委員）

- サポートセンターとの協働事業の公募を実施する。
（案）今年度内に広報掲載(2/1)・説明会(2月中に2回)・公開選考会(3/15)を実施。選考委員は、サポートセンター運営委員・サポートセンター利用者・コーディネーター・ボランティア担当室職員・パートナーシップ条例策定委員にて構成。

- 準備期間等を考慮して、スケジュールを再調整する。
- 既存の協働事業も新たに公募対象として、公平性を期する。

運営委員会機関紙発行について（交流部会：金子委員）

- ニュースレターと合併号にする再検討案について
（案）編集委員を公募し、独立性を保つために交流部会とは別組織にする。
（意見）交流部会の下部組織とする。センター事務局の直轄組織とする。
編集委員の位置付けを明確にした上で、公募する。
交流部会と情報部会で継続審議とする。

シンボルマスコットの公募と名前について（交流部会：金子委員）

- 1月15日号の広報まつどにて、サポートセンターのシンボルマスコット作品の募集を掲載する。

- ホームページ及びNPO見本市会場にて、人気投票を実施する。

- 3月に運営委員会で最終決定する。

NPO見本市準備内容と運営委員会の出展について（交流部会：三沢委員）

- 運営委員会は、まちづくりのコーナーに出展する。

センターホームページの運営について（情報部会：川瀬委員）

- 12月16日に、コーディネーターとの合同会議を開催する。

議題6：その他

市民活動モデル調査について（小山コーディネーター）

- 1月21・22日に指定管理者制度をテーマにワークショップを実施する。
- 運営委員もできるかぎり参加する。

パートナーシップ条例策定委員会について（事務局）

- 委員会では協働や参加のしるべきを担保する条例を提案する。
- 第1部会を設置し、プロセスデザインと事務局機能を持たせる。
- 運営委員会から委員1名が第1部会の部会員として参加することを提案する。

12月14日の第1部会には、半田委員が傍聴する。

利用者アンケートについて（時間切れのため次回へ）

- 次回の運営委員会で審議する。

追加議題；コーディネーターの退職について（議題5審議中）

- 退職の経緯にセンターの構造的な問題は無いか。（質問：岩橋委員）
- 退職は個人の事情によるところが大きいと考えるが、新任コーディネーターに対する研修時間が不足しているのが現状である。（回答：事務局）

（以上）

連絡事項

次回の運営委員会は2月1日（火）18:30から開催する。

議事進行等の担当は、岩橋委員・半田委員

平成 年 月 日
まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第8号）

発行日：2005年02月01日

（作成者）運営委員 岩橋秀高

第6回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成17年02月01日（水）18：30から21：00

場所：まつど市民活動サポートセンター第2会議室

出席者：（委員）金子・楠本・三沢・星野・川瀬・岩橋（コーディネーター）山崎、（小山は議題3.のみ）（事務局）伊原

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：（運営委員）星野

議事記録：（運営委員）岩橋

議題1：確認と報告事項

議題2：今年度サポートセンター予算執行状況

議題3：今年度事業報告及び来年度事業計画（案）

議題4：運営委員会の増員について

議題5：NPO・市民活動見本市の運営委員会ブースの運営について

議題6：臨時運営委員会の開催について

議題7：その他

配布資料

第5回運営委員会議事録、サポートセンター利用状況、利用者アンケート、今年度サポートセンター予算執行状況、今年度事業報告（レッツ体験、NPO・市民活動見本市中間報告、年金相談、パソコン無料相談、シニア講座）来年度事業計画（案）運営委員会委員公募原稿案、NPO・市民活動見本市出展スケジュール、公の施設の指定管理者制度導入の基本方針に対する提言書（案）

確認されたこと

1. 来年度事業計画について次回2月臨時運営委員会でコーディネーターを入れ検討する。

2. 運営委員増員の募集を実施する。選考方法等は次回2月臨時運営委員会で検討する。

3. 臨時運営委員会以下の通り開催する。
2月16日（水）18：30～20：30
3月15日（火）18：30～20：30

4. 運営委員会作成の質問のポイントを提出し、総務企画本部企画管理室課長との意見交換会の日程を詰める。

以上

議事の概要

議題1：確認と報告事項

(1) 本日の議事進行：進行星野委員 議事録岩橋委員

(2) 議事録確認：第5回運営委員会

(3) サポートセンター利用状況報告（平成16年4月～12月末）

利用率は依然として低い。他の施設の利用状況をセンターで調査し次回報告利用者アンケートではお叱りよりお褒めの声が多くなった。（交流部会）

議題2：今年度サポートセンター予算執行状況（12月末）

星野室長から説明があり質疑応答が行われた。

歳出「運営委員会報酬」は（交通費実費）を明記していただきたい。

歳出「市民活動モデル調査費」は委託費のため除外するのが適当ではないか。

歳出「NPO公開講座」は実施しない旨の説明あり。

歳出「コピー機・印刷機リース料等」は公用を区分して表示願いたい。

歳出についてまだ細かい積算が出来ていないが、いろいろな項目で運用されている実態が説明された。

議題3：今年度事業報告及び来年度事業計画（案）

コーディネーターから説明があり質疑応答が行われた。

(1) 今年度事業報告について

報告書は各自で後で読んでいただきたい

Q：この今年度事業報告は誰に対する報告なのか

A：サポートセンター自身のためでもあり運営委員会に対するものでもある

Q：せめて問題点くらいは報告していただきたい

A：来年度事業計画（案）の説明時に併せて説明する。

(2) 来年度事業計画（案）について

次世代育成事業～レッツ体験は規模が大きくなってきた。年齢層ごとのプログラムが必要、例えば大学生との協同企画による次世代育成など

Q：その件は予算措置はしているのか

A：している

地域の活性化

Q：「市川松戸県道沿線を主軸ラインに置き」とあるが、矢切地区だけでなく、サテライト構想のように松戸市全体のネットワーク化を検討すべき。

A：表現等再検討する、サテライト構想も念頭に置くようにしたい

NPOのサポート

Q：主体はどこか、サポートセンターがするのか、NPOとの協働か、方向性をはっきりさせよう

A：未定である。

Q：次回に方向性を出していただきたい。ワークショップ等でのNPOのニーズ把握が必要。

Q：この来年度事業計画案と現在運営委員会で進めているサポートセンターのランドデザインとの整合性は

A：それぞれの事業はランドデザインにつながっているので遊離していない

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第8号）

発行日：2005年02月01日

（作成者）運営委員 岩橋秀高

次回臨時運営委員会議題

1. 来年度事業計画の件
2. 運営委員選考方法の件
3. 公募事業に関する件
4. その他

議事の概要

【結論】来年度事業計画案は運営委員会と一緒に討議する。次回臨時運営委員会の議題とする。

議題4：運営委員会委員の増員について

星野室長から説明があり質疑応答が行われた。

10名枠の残り3名について公募したい。

この件に関しては異議はなし。

対象はできれば前回募集時に課題となっている「女性・学生。30～40代の若い人」が応募してくれることを期待したい。

募集表現を工夫しよう、「30～40代」という表現をしてはいけない。

「女性・学生も大歓迎」ならどうか。

適性重視が基本である。

選考委員は運営委員会とコーディネーターがいろいろでは、運営委員会が適当等募集日程は2月15日号で広報、説明会は

3月4日午後7時からと

3月5日午前10時からとする。

選考委員会、選考方法等次回臨時運営委員会で再検討する。

議題5：NPO・市民活動見本市の運営委員会ブースについて

資料に基づき説明あり、見本市のプログラムの情報掲載欄に「運営委員募集」と掲示する。

議題6：臨時運営委員会の開催について

討議の結果2月3月にそれぞれ臨時運営委員会を開催することになった。

2月16日（水）18.30～20.30

3月15日（火）18.30～20.30

議題7：総務企画本部企画管理室課長との意見交換会の件

運営委員会作成の質問のポイントを提出していただき、日程を詰めよう。

議題8：その他

企画部会の公募事業に関する基本方針についてはメールで意見交換することとする。

以上

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第9号）

発行日：2005年2月16日

（作成者）星野宏昭

平成16年度まつど市民活動サポートセンター運営委員会2月臨時会

日時：平成17年2月16日（水）18：30から20：30

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：（委員）金子・楠本・三沢・岩橋・川瀬・星野（コーディネーター）藤沢（事務局）岩崎

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：岩橋

議事記録：星野

議題1：前回の確認等

議題2：来年度事業計画について

議題3：運営委員会委員選考方法について

議題4：公募事業について

確認された事項

- ・3月10日（木）午後6時30分から臨時運営委員会を開催する。
- ・臨時会の担当は金子委員、半田委員で対応する。

次回の議題

議題：サテライト構想について

議題：マスコット関係について

連絡事項

- ・特に無し

議事の概要

議題1：前回の確認等

第6回運営委員会議事録について確認

議題2：来年度事業計画について

1) NPOサポート

自立を目指す（実績を積む支援）

- ・レッツ体験の参加団体でワークショップ
- ・レッツ体験はNPOを育てる目的もあり
- 資金調達
- ・中央労働金庫の協力を得ながら、ワークショップ型でやっていきたい。
- ・どういうイメージか

県民プラザで体験済みなので、資料も揃っているしコーディネーターで対応できる

- ・レッツ参加団体27団体もワークショップの参加候補です
- ・意見交換しながら勉強会にしていきたい
- ・見本市の中でもリーダーが生まれつつあり、意見交換も顔の見える交流ができていますので、実施する意味がある
- ・良いアイデアと思う、若い人も参加してもらえると活性化になるし、できるだけ多くの参加団体を集めたい
- ・親子で参加できるようなものをやったら面白い
- ・助成金は、NPOが始めの一歩を助けるものであり、自分で稼ぐ前の段階の助成
- ・ミッションを持っている団体は多いが、それを達成するための事業化ができない、それを助けることも大事ではないか
- ・今後ともレッツは企画していくが、助成金は検討していきたい

議題3：運営委員会委員の選考方法について

1) 選考委員会の設置

- ・書類審査、集団面接（ワークショップ）
- ・5人の選考委員（外部委員1名、運営委員2名、岩橋委員、楠本委員、推進委員1名、行政委員1名、星野委員）
- ・外部委員は、前回運営委員選考委員の山崎氏、木下氏、牧野氏の順で意向確認する
- ・面接等の選考は、3月26日（土）午前9時30分から午後3時
- ・集団面接ワークショップのファシリテーターは、小山コーディネーターで実施、ワークショップテーマを検討する。

2) 説明会

- ・説明会は、3月4日、3月5日
- ・作文期間は2週間で、締め切りは3月19日
- ・説明会の担当は、4日（金）は岩橋委員、（三澤委員、半田委員のどちらかで調整）星野委員、5日（土）は金子委員、川瀬委員

3) 選考方法

- ・各委員が一人持ち点作文3点、面接3点の計6点の持ち点で評価し、5人の

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第9号）

発行日：2005年2月16日

（作成者）星野宏昭

議事の概要

選考委員による投票をおこない、最終選考により選考する。

4) 説明会資料

- ・運営委員会設置要綱
- ・募集要項、応募用紙
- ・検討委員会提言書（運営委員会活動報告書付ける）
- ・広報まつど特集号

5) その他

- ・4月の運営委員会は、4月12日で、この日に新委員の委嘱を予定している

議題4：公募事業について

- ・募集期間を3月23日から4月15日に変更、団体の応募対応が難しい。
- ・事前審査は4月18日から4月20日
- ・選考審査会は4月29日
- ・協定協議期間は5月初旬から5月下旬
- ・協定は、5月下旬
- ・事業報告は18年3月末日
- ・事業成果発表会は18年5月

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第10号）

発行日：2005年03月10日

（作成者）金子雄二（運営委員）

平成16年度 まつど市民活動サポートセンター運営委員会（3月臨時会）

日時：平成17年03月10日（木）18:35から21:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：（運営委員）岩橋・星野・三沢・半田・川瀬・楠本・金子、（コーディネーター）中村・小山、（事務局）伊原

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：半田

議事記録：金子

議題1：前回議事録（02月16日開催）の確認

議題2：運営委員の補充人選のワークショップについて

議題3：シンボル・マスコットの決定について

議題4：指定管理者制度の基本方針に関する条例策定委員会との協同提案の取り扱いについて

議題5：協働事業提案について

議題6：早期予約の取り扱い規定について

議題7：その他

- 1): NPO・市民活動見本市の実施報告
- 2): 運営委員の補充人選について
- 3): パソコン無料相談会について
- 4): 情報部会からの報告
- 5): サテライト構想について

確認されたこと

議題1：前回議事録（02月16日開催）を確認

議題2：議題：7（2）でまとめて討議

議題3：シンボル・マスコットの決定について

- 最高得票のNO. 3と決定。他の2点と特別賞候補を入賞とする
- 4月15日発行の市広報に発表。同時にキャラクターの名前を公募する
- 応募方法は、郵送、FAX、Eメールでサポートセンター宛とする
- 4月26日（火）締め切りとする
- 5月10日（火）開催の臨時運営委員会で最終決定する
- 5月21日（土）10:00に、キャラクターのデザインと名前の表彰式を開催する

議事の概要

議題1：前回議事録（02月16日開催）の確認
運営委員会通信（第9号）を確認

議題2：運営委員の補充人選のワークショップについて（小山コーディネーター）

➢ 議題7：その他（2）運営委員の補充人選でまとめて討議する。

議題3：シンボル・マスコットの決定について（金子委員）

- NPO・市民活動見本市での人気投票（164票）から上位3点と特別賞候補を紹介。討議の結果、最高得票のNO. 3に決定。他の2点と特別賞候補を入賞とする。
- 4月15日発行の市広報で発表。同時にキャラクターの名前を公募する。
- 応募方法は、郵送、FAX、Eメールとして、サポートセンター宛とする。
- 4月26日（火）締め切りとして、4月の交流部会で応募作品を整理し運営委員会に提出する。

➢ 5月10日（火）開催の臨時運営委員会で最終決定する。

➢ 5月21日（土）10:00に、キャラクターのデザインと名前の表彰式を開催する。この表彰式には、市広報やコアラTV等のメディアにも参加を呼び掛ける。

議題4：指定管理者制度の基本方針に関する条例策定委員会との協同提案の取り扱いについて（半田委員）

- 基本方針にパートナーシップの記載はないが、前回の総務企画室長との話し合い及び文書回答から、サポートセンターの意向を踏まえた回答から一応の評価は出来る。しかし、パートナーシップの仕組みや選考委員会の市民参加等に関する点は、施設毎の個別対応と充分納得できない曖昧な点もある。
- この件は定例議会でも質問が出され、先の文書回答と同じ正式回答が成された。当面議会答弁で確認が得られたことと認識し、議会議事録確認後に対処を検討。
- 条例策定委員会に対しては、3月18日開催の第1部会で以上の経過報告をする。（担当：半田委員）

議題5：協働事業提案について（星野委員）

- 提示資料（市民活動サポートセンター協働提案事業募集要領（案））の検討。前回提出の資料に対して、スケジュールの一部変更と募集要領の様式5を追加。
- 協働事業説明会（3月22日（火））は、半田委員が担当。
- 5月1日発行の市広報に、選考審査会（公開プレゼン）の通知を出す。
- 選考審査会の応募者プレゼンテーションは公開として、5月8日（日）に変更。但し、審査会是非公開とする。
- 選考委員会のメンバーは、サポートセンター運営委員、パートナーシップ条例策定委員、NPO・市民活動見本市実行委員、世田谷ボランティア協会（山崎氏）ボランティア担当室の5名で構成する。

議題6：早期予約の取り扱い規定について（半田委員）

➢ 配布資料不十分につき、次回継続審議とする。

議題7：その他

1): NPO・市民活動見本市の実施報告（中村コーディネーター）

➢ 参加団体：50、参加者：約450名。詳細は3月18日の実行委員会で報告予定。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信（第10号）

発行日：2005年03月10日

（作成者）金子雄二（運営委員）

確認されたこと

議題4：指定管理者制度の基本方針に関する条例策定委員会との協同提案について

- この件は定例議会でも質問が出され、先の文書回答と同じ正式回答が成された。当面議会答弁で確認が得られたことと認識し、議会議事録確認後に対処を検討
- 条例策定委員会に対しては、3月18日開催の第1部会で以上の経過を報告する（担当：半田委員）

議題5：協働事業提案について

- 協働事業説明会（3月22日（火））は、半田委員が担当
- 5月1日発行の市広報に、選考審査会（公開プレゼン）の通知を出す
- 選考審査会の応募者プレゼンテーションは公開として、5月8日（日）に変更

議題6：早期予約の取り扱い規定について

- 継続審議

議題7：その他

- 1): NPO・市民活動見本市の実施報告
- 2): 運営委員の補充人選について
 - 議題2の小山コーディネーター提案のワークショップに関し、前回実施の選考方式の提案が成された決定された
- 3): パソコン無料相談会について
今年4,5月は既存事業とし、6月以降は新規事業として新たに応募して貰う
- 4): 情報部会からの報告（川瀬委員）
 - ホームページ・リニューアル案から作業を全員が順次担当する
- 5): サテライト構想について
 - 継続審議

連絡事項

次回の定例運営委員会は04月12日（火）18:30から開催。次々回は臨時運営委員会として5月10日（火）18:30から開催。

議事の概要

議題7：その他

2): 運営委員の補充人選について（星野委員）

- 議題2の小山コーディネーター提案のワークショップに関し、星野委員から前回実施と同様の選考方式の提案がなされた。
- 選考は書類審査及び面接審査により、選考委員会で選考する。
- 書類審査シート、面接審査シート（積極性、協調性、リーダーシップ、調整能力、折衝力、バランス感覚）及び総合判定シートを用いて評価する。
- 面接はワークショップ方式で、集団面接方法により実施、松戸よいとこ探インタビュー（応募者同士）、サポートセンターを発展させるプランをワークショップ形式で実施する。
- 運営委員として、川瀬委員がファシリテーターとして参加。全体のファシリテーターは、小山コーディネーターを担当とする。
- 5名の選考委員による選考会議で最終選考をへて決定する。
- 選考委員会は、3月26日（日）09:30から
- 応募者が1~2名の場合は、選考委員が面接で対処する。

3): パソコン無料相談会について

- 従来からの事業であるので、協働事業として位置付ける。
- 新規事業との不公平をなくすことと、既存事業としての貢献度を考慮して取り扱うこととする。
- 今年4,5月は既存事業とし、6月以降は新規事業として新たに応募して貰う。
- 1年経過後の事業評価は、別枠で成果評価を継続審査する。

4): 情報部会からの報告（川瀬委員）

- ホームページ・リニューアル案から、トップページの構成を変更する。それに伴い、イベントやニュース等のデータを毎月更新する。
- この更新作業（ニュース原稿の作成等）は、ボランティア担当室、コーディネーター、運営委員の14名が順次担当する。
- 打ち合わせコーナーに設置の検索用パソコンは、使用頻度等から考慮して今後コーディネーター作業用に転用する。

5): サテライト構想について

- 検討時間なく、次回の継続審議となった。

6): 民営化特別部会の日程変更

- 協働事業説明会が3/22となったため、民営化特別部会は3月29日18:30に変更する。

（以上）

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長